



## 間接疑問文

間接疑問文というのは、〈疑問詞+主語+動詞〉のカタマリが文の一部になっている文のことです。What do you have in your hands?の前に、たとえばI know (私は知っています) を置いてみましょう。

**疑問文** What do you have in your hands? (あなたは手に何を持っていますか)

**間接疑問文** I know **what you have** in your hands.  
(私は、あなたが手に何を持っているかを知っています)

間接疑問文では、what you haveのように〈疑問詞+主語+動詞〉の語順になり、whatからhandsまでがknowの目的語になるのがポイントです。ほかの疑問詞を使った間接疑問文も確認してください。

I know **why she said** such a thing.  
(私は、彼女がなぜそんなことを言ったのかを知っています)

I know **how long they have lived** in Kobe.  
(私は、彼らがどれくらい神戸に住んでいるのかを知っています)

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5=20点)

- (1) 私たちは、あなたが何を言いたいのかがわかっています。  
We know ( what you want / what do you want ) to say.
- (2) 私は、あなたがなぜそのようなことを言ったのかがわかりません。  
I don't know ( why said you / why you said ) such a thing.
- (3) あなたは、いつあなたの友人がここに来るのか、わかりますか。  
Do you know ( when will come your friend / when your friend will come ) here?
- (4) 私はあなたに、彼はどこへ行くつもりなのかをたずねたいです。  
I want to ask you ( where is he going / where he is going ) to go.
- (5) 私の先生は私たちに、どのように英語の勉強をするかを教えてくださいました。  
My teacher taught us ( how we should study / how should we study ) English.

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。(6点×5=30点)

- (1) 私たちは、彼が何を言いたかったのかがわかっています。  
We know ( he / what / to say / wanted ).  
We know \_\_\_\_\_.
- (2) 私たちは、あなたがなぜそのようなひどいことをしたのかがわかりません。  
We don't know ( you / such a / why / did / terrible thing ).  
We don't know \_\_\_\_\_.
- (3) あなたは、彼女がいつ日本に戻ってくるのかを知っていますか。  
Do you know ( to Japan / she / come back / when / will )?  
Do you know \_\_\_\_\_?
- (4) 彼らはあなたに、その機械がどのように動くのかを見せるでしょう。  
They'll show you ( the / how / machine / works ).  
They'll show you \_\_\_\_\_.
- (5) 私の父は私に、服にいくら使うつもりなのかをたずねました。  
My father asked me ( on clothes / how much / would spend / I ).  
My father asked me \_\_\_\_\_.

**Q3** 次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5=50点)

- (1) 私は、彼女が何をしたのかを知っています。  
\_\_\_\_\_
- (2) 私の両親は、私がなぜそのようなことをしたのかわかりません。  
\_\_\_\_\_
- (3) あなたは、彼がいつ家に帰ってくるのかを知っていますか。  
\_\_\_\_\_
- (4) あなたは、彼が本にいくら使ったのかを知りたいですか。  
\_\_\_\_\_
- (5) 私は、その機械がどのように動くのかをあなたに見せましょう。  
\_\_\_\_\_



# so ~ that の文

so ~ that の文は、〈... so + 形容詞 [副詞] + that 節 (that + 主語 + 動詞)〉という形をとり、「とても～なので…だ」と「…なほど、とても～だ」という2つの訳し方があります。

He was **so busy that** he didn't have time to sleep last night.

(彼はとても忙しかったので、昨晚、眠る時間がありませんでした)

(彼は昨晚、眠る時間がないほど、とても忙しかったです)

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5 = 20点)

- (1) 彼は今とても忙しいので、あなたと話すことができません。  
He is ( so busy / too busy ) now that he can't talk with you.
- (2) 彼はとても親切だったので、みんな彼のことが大好きでした。  
He was ( so kind / kind enough ) that everyone liked him very much.
- (3) そのスーツケースはとても重かったので、私たちは部屋まで運べませんでした。  
The suitcase was ( too heavy / so heavy ) that we were not able to carry it to the room.
- (4) その男性はとても速く話すので、私たちは彼のことを理解できません。  
The man speaks so fast ( that we can't / for us to ) understand him.
- (5) 私の子どもが大声で話していたので、私は昼寝をすることができませんでした。  
My children spoke so loudly ( that I was not able to take / that I took ) a nap.

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。(6点×5 = 30点)

- (1) 彼はとても裕福ゆふくなので、新しい車を買うことができました。  
He was ( rich / that / he / was able / so / a new car / to buy ).  
He was \_\_\_\_\_.
- (2) その男性はとても背が高かったので、私たちは簡単に彼だとわかりました。  
The man was ( him / so / that / we / tall / recognized ) easily.  
recognize 「～だとわかる」  
The man was \_\_\_\_\_ easily.
- (3) その男性はとても速く走ったので、私は彼に追いつくことができませんでした。  
The man ran ( him / that / so / I / was not able to / catch up with / fast ).  
The man ran \_\_\_\_\_.
- (4) 私はとても遅くおそ起きたので、学校に間に合いませんでした。  
I got up ( was not able to be / that / in time for school / late / so / I ).  
I got up \_\_\_\_\_.
- (5) 私の息子はとても熱心に勉強したので、試験に合格することができました。  
My son studied ( that / so / pass / was able / he / the test / hard / to ).  
My son studied \_\_\_\_\_.

**Q3** 次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5 = 50点)

- (1) 彼はとても忙しいので、私は彼と出かける (go out) ことができません。  
\_\_\_\_\_
- (2) 彼女はとても速く話したので、私は彼女のことを理解できませんでした。  
\_\_\_\_\_
- (3) その男性はとてもお金持ちだったので、大きな家に住むことができました。  
\_\_\_\_\_
- (4) 私の娘はとても熱心に勉強したので、試験に合格することができました。  
\_\_\_\_\_
- (5) 私はとても起きるのが遅かったので、学校に遅刻 (late for) しました。  
\_\_\_\_\_



# 感嘆文

「何て～なんでしょう！」という驚きを表す文を「感嘆文」といい、How や What を使って表現します。それぞれの語順に注意しましょう。

**How** を使う 〈How + 形容詞 [副詞] + 主語 + 動詞 ~!〉

**What** を使う 〈What + (a [an] +) 形容詞 + 名詞 + 主語 + 動詞 ~!〉

文の終わりには、ピリオドではなくエクスクラメーションマーク (!) を使います。また、どちらの文も〈主語 + 動詞 ~〉を省くことができます。

**How beautiful these flowers are!** (これらの花は何て美しいのでしょうか！)

**What a beautiful flowers these are!** (これらは何て美しい花なのでしょうか！)

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5=20点)

- (1) あなたは何て忙しいのでしょうか！  
( How busy / What busy ) you are!
- (2) あなたは何て速く走ることができるのでしょうか！  
( What fast / How fast ) you can run!
- (3) この動物は何てゆっくり歩くのでしょうか！  
( How slowly / What slowly ) this animal walks!
- (4) これは何て難しい問題なのでしょうか！  
( What a difficult question / How a difficult question ) this is!
- (5) 彼らは何て親切な女の子なのでしょうか！  
( What kind girls / How kind girls ) they are!

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語を並べかえなさい。(6点×5=30点)

- (1) 彼女は何て忙しかったのでしょうか！  
( was / busy / she / how )!
- \_\_\_\_\_!
- (2) あなたは何て速く走ることができたのでしょうか！  
( could / how / you / run / fast )!
- \_\_\_\_\_!
- (3) その動物は何てゆっくり歩くのでしょうか！  
( how / animal / slowly / the / walks )!
- \_\_\_\_\_!
- (4) これらは何て簡単な問題なのでしょうか！  
( are / easy / what / questions / these )!
- \_\_\_\_\_!
- (5) 彼女は何てかわいらしい赤ちゃんなのでしょうか！  
( what / cute / is / baby / a / she )!
- \_\_\_\_\_!

**Q3** 次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5=50点)

- (1) 彼は何て忙しかったのでしょうか！
- \_\_\_\_\_
- (2) 彼女は何てよい本を持っているのでしょうか！
- \_\_\_\_\_
- (3) その動物は何て速く走ることができるのでしょうか！
- \_\_\_\_\_
- (4) これらは何て難しい問題なのでしょうか！
- \_\_\_\_\_
- (5) その赤ちゃんは何てかわいらしいのでしょうか！
- \_\_\_\_\_



# 付加疑問文

相手に「～ですね?」と確認したり、同意を求めたりする文が「付加疑問文」です。確認・同意を求める内容を表す文の文末に、<(,) + 助動詞(または be 動詞)と not の短縮形 + 前半の主語?>を付け加えます。下の例文で理解しましょう。

be 動詞と not の短縮形 ↓  
**He is kind, isn't he?** (彼は親切ですね?)  
 ↑確認・同意を求める内容

前半に can が使われていたら <can't ~?>, will が使われていたら <won't ~?>, 現在完了形なら <haven't/hasn't ~?> とします。

また、前半が否定文の場合、付け足した部分に not は不要です。

**Tom and Ken didn't study Spanish, did they?**

(トムとケン、スペイン語を勉強しませんでしたね?)

また、この文のように、前半の主語が人名などの場合、付け足した部分では主語は代名詞に変えましょう。

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5 = 20点)

- (1) 彼はあなたのお父さんですね?  
He is your father, ( isn't he / is he )?
- (2) カナはフランスで美術を勉強したのですね?  
Kana studied art in France, ( didn't she / doesn't she )?
- (3) あなたとノリコは来年結婚するのですね?  
You and Noriko will get married next year, ( won't you / don't you )?
- (4) これらはあなたたちのコートではないですね?  
These aren't your coats, ( are they / do they )?
- (5) あなたは英語を話すことができないのですね?  
You can't speak English, ( can you / can I )?

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。(6点×5 = 30点)

- (1) 彼はあなたのお兄さんですね?  
He ( he / your / is / brother / , / isn't / )?  
He \_\_\_\_\_ ?
- (2) あなたのお姉さんは、イタリアで音楽を学んだのですね?  
Your sister ( she / studied / in Italy / , / didn't / music )?  
Your sister \_\_\_\_\_ ?
- (3) あなたとタカシは今度の6月に結婚するのですね?  
You and Takashi ( will / married / , / next June / won't you / get )?  
You and Takashi \_\_\_\_\_ ?
- (4) これは彼のメガネではないですね?  
These ( are they / aren't / glasses / , / his )?  
These \_\_\_\_\_ ?
- (5) あなたはフランス語を話すことができないのですね?  
You ( can / you / speak / , / can't / French )?  
You \_\_\_\_\_ ?

**Q3** 次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5 = 50点)

- (1) 彼はあなたの先生ですね?  
\_\_\_\_\_
- (2) あなたは英語の勉強をしたいのですね?  
\_\_\_\_\_
- (3) あなたは来年、フランス (France) に行く予定なのですね?  
\_\_\_\_\_
- (4) その鳥は飛ぶことができないのですね?  
\_\_\_\_\_
- (5) ケンジは、昨日は忙しくなかったのですね?  
\_\_\_\_\_



## 仮定法過去

事実と異なることについて「もし～なら」と述べる表現方法を「仮定法」と呼びます。まず、「現在の事実と異なる内容」を表す「仮定法過去」を学習しましょう。文の形は、〈If+主語+動詞の過去形～, 主語+would+動詞の原形…〉で、意味は「もし(主語が)～なら、(主語は)…するだろうに」です。

If～の部分にbe動詞を使うときには、一般的に主語が何であってもwereを使います。また、後半のwouldの代わりにcould, should, mightなども使えます。

**If I were you, I would go to America.**

(もし私があなたなら、私はアメリカに行くでしょうに)

If～を後ろに持ってくることもあります。この場合、ifの前にカンマ(,)はつけません。

**You could be successful if you had enough money.**

(もしあなたに十分なお金があれば、成功できるでしょうに)

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。

(4点×5=20点)

- (1) もし私があなたなら、そのようなことはしないででしょうに。  
If I ( were / is ) you, I wouldn't do such a thing.
- (2) もし私が鳥なら、私はあなたのところへ飛んでいけるでしょうに。  
If I ( were / am ) a bird, I could fly to you.
- (3) もし私がロケットを持っているなら、私は月に行くでしょうに。  
I would go to the moon if I ( had / have ) a rocket.
- (4) もし彼が会議に出席するなら、私も参加するでしょうに。  
If he attended the meeting, I ( would join / will join ) it.
- (5) もしあなたが劇場に来るなら、あなたのお気に入りのコメディアンに会えるでしょうに。  
You ( can meet / could meet ) your favorite comedian if you came to the theater.

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。

(6点×5=30点)

- (1) もし私があなたなら、私はそう言わないでしょうに。  
I wouldn't say so ( if / were / you / I ).  
I wouldn't say so \_\_\_\_\_.
- (2) もし私が裕福なら、私は家を買うことができるでしょうに。  
I could buy a house ( I / rich / were / if ).  
I could buy a house \_\_\_\_\_.
- (3) もしあなたがもっと熱心に勉強していれば、試験に合格できるでしょうに。  
( harder / you / if / studied ), you could pass the test.  
\_\_\_\_\_, you could pass the test.
- (4) もっと熱心に働いていけば、あなたはたくさんのお金をかせぐでしょうに。  
( make / would / money / a lot of / you ) if you worked harder.  
\_\_\_\_\_ if you worked harder.
- (5) もしあなたがパーティーに来れば、もっと楽しいものになるでしょうに。  
If you came to the party, ( would / it / fun / be / more ).  
If you came to the party, \_\_\_\_\_.

**Q3** 次の日本語を英語に直しなさい。

(10点×5=50点)

- (1) もし私があなたなら、それをしないででしょうに。(Ifで始めて)  
\_\_\_\_\_
- (2) もし私がお金持ちなら、海外へ旅行に行く(travel abroad)でしょうに。(Iで始めて)  
\_\_\_\_\_
- (3) もしあなたがもっと一生懸命に働いていけば、たくさんのお金をかせげるでしょうに。(Ifで始めて)  
\_\_\_\_\_
- (4) もしここに来れば、彼女と会うことができるでしょうに。(Youで始めて)  
\_\_\_\_\_
- (5) もし私が車を持っていれば、湖に行くでしょうに。(Ifで始めて)  
\_\_\_\_\_



## I wish + 主語 + 動詞の過去形

「～であればなあ」のように、現在の事実と異なることを願望するときにも仮定法を使います。If を使わず、I wish を使って「～であればなあ」という意味を作ることができます。I wish の後ろには〈主語 + 動詞の過去形〉が続きますが、could や would のような助動詞の過去形を使い、〈主語 + could [would] + 動詞の原形〉のような形になることもあります。また、be 動詞を使う場合は were を使うのが一般的です。

### I wish I could speak French well.

主語 + 助動詞の過去形 + 動詞の原形 (私がフランス語を上手に話そうことができたらなあ)

### I wish I were a magician. (私がマジシャンであればなあ)

主語 + 動詞の過去形 (be 動詞は were を使う)

Q1 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5 = 20点)

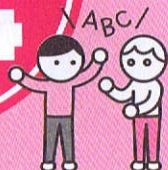
- (1) 私が金持ちだったらなあ。  
I wish I ( were / am ) rich.
- (2) 彼女がここにいてくれたらなあ。  
I wish she ( is / were ) here.
- (3) 彼が私たちといっしょに来てくれたらなあ。  
I wish he ( will come / would come ) with us.
- (4) 新しいスマートフォンが買えたらなあ。  
I wish I ( can buy / could buy ) a new smartphone.
- (5) 彼の住んでいる場所を知っていたらなあ。  
I wish I ( can know / knew ) where he lives.

Q2 次の日本語に合うように、( )内の語を並べかえなさい。(6点×5 = 30点)

- (1) 彼があなたといっしょに来てくれたらなあ。  
I wish ( with / he / come / you / would ).  
I wish \_\_\_\_\_.
- (2) 今、彼女に連絡を取ることができればなあ。  
I wish ( her / I / could / contact ) now.  
I wish \_\_\_\_\_ now.
- (3) 彼らのように上手に中国語を話せたらなあ。  
I wish ( well / I / speak / could / Chinese ) like them.  
I wish \_\_\_\_\_ like them.
- (4) 新しい自転車を買うことができたらなあ。  
( bike / buy / a / I / could / wish / new / I ).  
\_\_\_\_\_.
- (5) 今、休憩することができればなあ。  
( a / take / I / could / wish / I / break ).  
\_\_\_\_\_.

Q3 次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5 = 50点)

- (1) 私が鳥だったらなあ。  
\_\_\_\_\_.
- (2) 私が新しいコンピューターを買うことができればなあ。  
\_\_\_\_\_.
- (3) 彼女がパーティーに来ることができればなあ。  
\_\_\_\_\_.
- (4) 私があなたのように上手に英語が話せればなあ。  
\_\_\_\_\_.
- (5) 彼らが私と会ってくれたらなあ。  
\_\_\_\_\_.



## 仮定法過去完了 (発展)

前のセクションとは違い、「もし(主語が)～していたら、(主語は)…していただろうに」のように「過去の事実と異なる内容」を表現したいときには、〈If+主語+had+過去分詞～, 主語+would+have+過去分詞…〉の形を使います。wouldの代わりにcould, should, mightなども使えます。

**If you had left earlier, you could have caught the first train.**

(もしもっと早く出ていれば、あなたは始発電車に乗れたでしょうに)

**You wouldn't have had the trouble if you had been more careful.**

(もしもう少し注意していたら、あなたは問題を抱えなかったでしょうに)

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5=20点)

- (1) もし仕事を終えていたら、あなたは私たちといっしょに出かけていたでしょうに。  
If you ( had finished / finished ) your work, you would have gone out with us.
- (2) もし彼女に十分な時間があったら、会議に来ていたでしょうに。  
If she ( has had / had had ) enough time, she would have come to the meeting.
- (3) もし彼の住所を知っていたら、私は彼に連絡することができたでしょうに。  
I could have contacted him if I ( had known / have known ) his address.
- (4) もし疲れていなかったら、私はオフィスまで歩いたでしょうに。  
If I had not been tired, I ( would have walked / had walked ) to my office.
- (5) もしあなたのアドバイスに従っていたら、私は失敗しなかったでしょうに。  
I ( would have not failed / would not have failed ) if I had followed your advice.

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。(6点×5=30点)

- (1) もし忙しくなかったら、私はあなたを手伝っていたでしょうに。  
If I had not been busy, ( have / would / helped / I / you ).  
If I had not been busy, \_\_\_\_\_.

- (2) もし彼女が大金を持っていたら、その高価なコンピューターを買うことができたでしょうに。  
( she / if / had / a lot of / had / money ), she could have bought the expensive computer.

\_\_\_\_\_,  
she could have bought the expensive computer.

- (3) もし私が彼女のメールアドレスを知っていたら、連絡することができたでしょうに。  
I could have contacted her ( I / if / her / had / e-mail address / known ).

I could have contacted her \_\_\_\_\_.

- (4) もしあなたが8時に電車に乗っていたら、そこにもっと早く到着していたでしょうに。  
( had / the / you / if / caught / train ) at 8:00, you would have got there earlier.

\_\_\_\_\_  
at 8:00, you would have got there earlier.

- (5) もしもっと熱心に働いていなかったら、あなたは成功しなかったでしょうに。  
( succeeded / would / you / have / not ) if you had not worked harder.

\_\_\_\_\_ if you had not worked harder.

**Q3** 次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5=50点)

- (1) もし私に時間があったら、あなたに会うことができたでしょうに。(Ifで始めて)  
\_\_\_\_\_
- (2) もし彼女が私のアドバイスに従っていたら、彼女は成功していたでしょうに。(Sheで始めて)  
\_\_\_\_\_
- (3) もし彼がもっと早く起きていたら、その電車に乗ることができていたでしょうに。(Ifで始めて)  
\_\_\_\_\_
- (4) もし私が疲れていなかったら、あなたを手伝うことができたでしょうに。(Iで始めて)  
\_\_\_\_\_
- (5) もしあなたが一生懸命勉強していなければ、試験に合格しなかったでしょうに。(Ifで始めて)  
\_\_\_\_\_



# 現在分詞

a standing girl (立っている女の子), a broken window (割れた窓) のように、動詞を ing 形にしたり過去分詞形にしたりして名詞を修飾できるようにしたものを分詞といいます。そのうち、動詞の ing 形の方を現在分詞といい、「～している [名詞]・～する [名詞]」のような意味になります。現在分詞と説明される名詞との間には「[名詞]は～する」という能動関係があることを覚えておきましょう。また、1語の現在分詞で名詞を説明するときには「名詞の前」から説明をし、2語以上の意味のカタマリとなって説明をするときには「名詞の後ろ」から説明をします。

**前から説明** a crying baby (泣いている赤ちゃん)

**後ろから説明** a baby crying over there (向こうで泣いている赤ちゃん)

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5=20点)

- (1) その飛んでいる鳥を見なさい。  
Look at ( the flying bird / the fly bird ).
- (2) 私はその泣いている赤ちゃんを知っています。  
I know ( the cry baby / the crying baby ).
- (3) 向こうを歩いている動物を見なさい。  
Look at the animal ( walking over there / walked over there ).
- (4) 公園には野球をしている少年が何人かいます。  
There are some boys ( playing baseball / played baseball ) in the park.
- (5) オフィスで働いている1人の女性がいます。  
There is a woman ( working in the office / work in the office ).

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。(6点×5=30点)

- (1) その泣いている子どもを見なさい。  
Look at ( crying / child / the ).  
Look at \_\_\_\_\_.
- (2) 私たちはその眠っている赤ちゃんを知りません。  
We don't know ( baby / sleeping / the ).  
We don't know \_\_\_\_\_.
- (3) 向こうで飛んでいる大きな鳥を見なさい。  
Look at ( flying / big bird / the / over there ).  
Look at \_\_\_\_\_.
- (4) 劇場で働いている1人の男性がいました。  
There was ( in / a man / working / the theater ).  
There was \_\_\_\_\_.
- (5) あなたは、公園の周りを走っている数人の子どもが見えますか。  
Can you see ( a few / around / children / running / the park )?  
Can you see \_\_\_\_\_?

**Q3** 現在分詞を使って、次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5=50点)

- (1) 眠っている赤ちゃんを見なさい。  
\_\_\_\_\_
- (2) 向こうで飛んでいる鳥を見なさい。  
\_\_\_\_\_
- (3) 私はその泣いている少年を知っています。  
\_\_\_\_\_
- (4) オフィスで働いているたくさんの男性がいました。  
\_\_\_\_\_
- (5) 向こうで走っている2,3人の子どもたちが見えますか。  
\_\_\_\_\_





## 過去分詞

現在分詞と違い、過去分詞と説明される名詞との間には「**名詞**は～される」という受動の関係があることを覚えておきましょう。また、1語の過去分詞で名詞を説明するときには「名詞の前」から説明し、2語以上の意味のカタマリとなって説明をするときには「名詞の後ろ」から説明をします。

前から説明 **a broken camera** (壊されたカメラ)

後ろから説明 **a camera broken by someone** (だれかに壊されたカメラ)

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5=20点)

- (1) 彼女は割られた窓に驚きました。  
She was surprised at ( the breaking window / the broken window ).
- (2) 私たちはオフィスで印刷された数枚の書類を持っています。  
We have some documents ( printed in our office / print in our office ).
- (3) 私は世界中の多くの人々によって使われているコンピューターを買いました。  
I bought a computer ( used by a lot of people / using by a lot of people ) around the world.
- (4) 机の上に、日本で作られたカメラが数台あります。  
There are some cameras ( make in Japan / made in Japan ) on the desk.
- (5) 若者によって読まれているその本は、とてもおもしろいです。  
The book ( read by young people / reading by young people ) is very interesting.

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。(6点×5=30点)

- (1) 先生は割られた窓を見つけました。  
The teacher found ( window / broken / the ).  
The teacher found \_\_\_\_\_.
- (2) イタリアで作られた数台のテーブルを見なさい。  
Look at ( tables / some / Italy / made / in ).  
Look at \_\_\_\_\_.
- (3) 私は、ヨーロッパで多くの人々によって使われているコンピューターを買いたいです。  
I want to buy ( people / a computer / a lot of / used / by ) in Europe.  
I want to buy \_\_\_\_\_ in Europe.
- (4) その国で話されている言語は、英語とスペイン語です。  
( in / spoken / the languages / the country ) are English and Spanish.  
\_\_\_\_\_ are English and Spanish.
- (5) 若い人々によって読まれているその小説は、とても優れています。  
( by / read / the novel / young people ) is very good.  
\_\_\_\_\_ is very good.

**Q3** 次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5=50点)

- (1) その割られた窓を見なさい。  
\_\_\_\_\_
- (2) その先生は、日本で多くの人々に使われているコンピューターを買いました。  
\_\_\_\_\_
- (3) 日本で話されている言語は日本語です。  
\_\_\_\_\_
- (4) その若者たちによって歌われている歌は、とても人気です。  
\_\_\_\_\_
- (5) 私はイタリア (Italy) で作られたテーブルがほしいです。  
\_\_\_\_\_



## 関係代名詞 ①

### 主格の who

関係代名詞を使うと、2つの文を1つの文で表現できます。たとえば、

**I know the man. He is a doctor.** (私はその男性を知っています。彼は医者です)  
 という2つの文の the doctor と He はイコールなので、He を **who** という関係代名詞に置きかえ、以下の1文を作ることができます。

**I know the man who is a doctor.** (私は、医者であるその男性を知っています)  
 この文を見ると、関係代名詞はその後ろの部分(波線部)とともに文の形になり、前の名詞(先行詞という。ここでは the doctor)を説明していることがわかります。関係代名詞そのものが主語の役割をしているため、これを主格の関係代名詞といい、後ろにすぐ動詞(ここでは is)が続きます。また、例文のように先行詞が人を表す語の場合、関係代名詞は who を使います。who の代わりに that を使うこともできます。

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5=20点)

- (1) 私はこの会社で働いているその男性を知っています。  
 I know the man ( who works / who work ) for this company.
- (2) 私にはロサンゼルスに住んでいる3人の息子がいます。  
 I have three sons ( who live / who living ) in Los Angeles.
- (3) あなたは韓国に住んでいるその女性を知っていますか。  
 Do you know the woman ( who lives / who live ) in Korea?
- (4) 私に手紙を書いた男性は私の父です。  
 The man ( who wrote / who writes ) a letter to me is my father.
- (5) その試合でけがをした選手はとても有名です。  
 The player ( who got injured / who getting injured ) in the game is very famous.  
 got injured 「けがをした」

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。(6点×5=30点)

- (1) 私はロシアに住んでいるその女の子を知っています。  
 I know the girl ( lives / in / who / Russia ).  
 I know the girl \_\_\_\_\_.
- (2) あなたはその会社で働いているその男性を知っていますか。  
 Do you know the man ( works / who / the company / for )?  
 Do you know the man \_\_\_\_\_?
- (3) ふだん私たちに英語を教えている男性はホワイト先生です。  
 The man ( English / usually teaches / to us / who ) is Mr. White.  
 The man \_\_\_\_\_ is Mr. White.
- (4) アメリカに行くことを決めたその選手はとても有名です。  
 The player ( decided / to go / America / who / to ) is very famous.  
 The player \_\_\_\_\_ is very famous.
- (5) 私には以前パリを訪問したことのある数人の友人がいます。  
 I have some friends ( have / who / visited / Paris ) before.  
 I have some friends \_\_\_\_\_ before.

**Q3** whoを使って、次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5=50点)

- (1) 私たちはシアトル(Seattle)に住んでいるその女性を知っています。  
 \_\_\_\_\_
- (2) 彼らにはとても上手に小説を書くことができる友人がいます。  
 \_\_\_\_\_
- (3) アメリカ(America)に住むことを決めたその男性は、私のおじです。  
 \_\_\_\_\_
- (4) 私には東京で働いている子どもが1人います。  
 \_\_\_\_\_
- (5) 彼には、以前パリ(Paris)に住んでいたことがある娘(daughter)が1人います。  
 \_\_\_\_\_



## 関係代名詞 ②

### 主格の which, that

先行詞が the doctor のような「人」の場合、主格の関係代名詞には who もしくは that を使いましたが、先行詞が人以外の場合には which か that を使います。

Look at the church. It is next to the library.

(教会を見なさい。それは図書館の隣にあります)

Look at the church which [that] is next to the library.

↑先行詞が「もの」

(図書館の隣にある教会を見なさい)

Q1 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5=20点)

- (1) 私は、来年販売されるこのコンピューターがほしいです。  
I want this computer ( who will be sold / which will be sold ) next year.
- (2) これらは、とても速く飛ぶことができる動物です。  
These are animals ( which can fly / which flying ) very fast.
- (3) これは1990年に建てられたビルです。  
This is the building ( which was built / which built ) in 1990.
- (4) 向こうで眠っている犬を見なさい。  
Look at the dog ( that is sleeping / that sleeping ) over there.
- (5) 閉鎖される予定のその店は、私のレストランです。  
The store ( that will be closed / that will close ) is my restaurant.

Q2 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。(6点×5=30点)

- (1) その先生は自宅で使われる予定のコンピューターを買いました。  
The teacher bought ( will / computer / used / which / be / a ) at home.  
The teacher bought \_\_\_\_\_ at home.
- (2) これは2018年に開催されたイベントです。  
This is ( event / which / took place / an ) in 2018. take place 「開催される」  
This is \_\_\_\_\_ in 2018.

- (3) これは、その店で買うことができる絵です。  
This is ( picture / the / can be / bought / that ) at the shop.  
This is \_\_\_\_\_ at the shop.
- (4) 向こうでほえている犬を見なさい。  
Look at ( over / there / dog / the / that / is barking ). bark 「ほえる」  
Look at \_\_\_\_\_.
- (5) その部屋の壁にかかっているカレンダーは古いものでした。  
The calendar ( was / on the wall / of the room / which ) was old.  
The calendar \_\_\_\_\_ was old.

Q3 whichを使って、次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5=50点)

- (1) 私たちは昨年売られていたコンピューターがほしいです。  
\_\_\_\_\_
- (2) これらはとても速く飛ぶことができる鳥です。  
\_\_\_\_\_
- (3) これは2015年に開催されたイベントです。  
\_\_\_\_\_
- (4) 向こうで眠っている動物を見なさい。  
\_\_\_\_\_
- (5) 壁にかかっている地図はとても大きかったです。  
\_\_\_\_\_



#### ポイント 関係代名詞 whose

whose は所有格の関係代名詞で、〈whose + 名詞 + 動詞〜〉という形で先行詞を説明します。ポイントは、先行詞と whose の直後の名詞との間には、「～の」という関係があることです。

I know the boy whose father is a doctor. (私は、父親が医者である少年を知っています)



## 関係代名詞 ③ 目的格の which, that

目的格の関係代名詞は、関係代名詞自身が、それに続く主語と動詞の文の目的語の役割をしているために、目的格と呼ばれます。目的語の役割をしている関係代名詞が、先行詞の後ろに移動して、内容説明の意味のカタマリの先頭を担っていると考えましょう。先行詞が人以外のときには、which または that を使います。また、目的格の which や that はしばしば省略されます。

**This is a camera. Many people wanted to buy it.**

(これはカメラです。多くの人々がそれを買いたいと思っていました)

**This is a camera which [that] many people wanted to buy.**

(これは、多くの人々が買いたいと思っていたカメラです)

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5=20点)

- (1) 私は先週あなたが買った本を知っています。  
I know the book ( which / who ) you bought last week.
- (2) あれは長い間私がほしいと思っている自転車です。  
That is the bike ( that / whose ) I have wanted for a long time.
- (3) これは私が探していたかぎです。  
This is a key ( who / which ) I was looking for.
- (4) 彼らが見ていた動物は、とても速く走ることができます。  
The animal ( that / who ) they were looking at can run very fast.
- (5) 彼女が手に持っていたスマートフォンは、すてきに見えました。  
The smartphone ( which / what ) she had in her hands looked good.

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。(6点×5=30点)

- (1) 彼女は多くの女の子がとても好きな歌を歌いました。  
She sang a song ( a lot of / which / like / girls ) very much.  
She sang a song \_\_\_\_\_ very much.
- (2) 私は多くの人々が所有したいと思っていたコンピューターを買いました。  
I bought the computer ( to / people / which / have / wanted / many ).  
I bought the computer \_\_\_\_\_.
- (3) ハワイは多くの日本人が毎年訪れる場所です。  
Hawaii is the place ( Japanese / that / many / visit ) every year.  
Hawaii is the place \_\_\_\_\_ every year.
- (4) これはあなたのお兄さんが探していたかぎですか。  
Is this a key ( looking for / was / your brother / that )?  
Is this a key \_\_\_\_\_?
- (5) これらは私たちが何回も読んだことのある小説です。  
These are the novels ( read / many times / we / have ).  
These are the novels \_\_\_\_\_.

**Q3** ( )内の語を使って、次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5=50点)

- (1) これは若い人々がとても好きな歌です。(that)  
\_\_\_\_\_
- (2) これらはあなたが探している本ですか。(which)  
\_\_\_\_\_
- (3) 私が最も好きなスポーツはテニスです。(which)  
\_\_\_\_\_
- (4) 私が長い間ほしいと思っているコンピューターは、高価(expensive)です。(that)  
\_\_\_\_\_
- (5) 私は彼女が昨年書いた小説を持っています。(that)  
\_\_\_\_\_



# 関係代名詞 ④

## 目的格の that, who

先行詞が人を表す場合、目的格の関係代名詞は that, あるいは who か whom を使うことがポイントです。セクション99と同じように、これらの関係代名詞も省略することができます。実際の英文では whom を見かけることはありませんが、少し古い文などで見かけることがあります。

**He's a musician. Many young people want to see him.**  
(彼はミュージシャンです。多くの若者が彼に会いたがっています)

**He's a musician that [who, whom] many young people want to see.**  
(彼は、多くの若者が会いたがっているミュージシャンです)

**Q1** 次の文の( )内の正しいほうを選び、○で囲みなさい。(4点×5=20点)

- (1) 私はあなたが最も好きな俳優を知っています。  
I know the actor ( whom / whose ) you like the best.
- (2) こちらは多くの若者が尊敬している俳優です。  
This is the actor ( that / which ) many young people respect.
- (3) 私たちが最も好きなサッカー選手は、イタリアに行くことを決めました。  
The soccer player ( that / whose ) we like the best decided to go to Italy.
- (4) 彼が話をしている女性は、私の母親です。  
The woman ( which / who ) he is talking with is my mother.
- (5) 私たちはあなたが先週話題にしていた男性と会う予定です。  
We are going to meet the man ( that / which ) you were talking about last week.

**Q2** 次の日本語に合うように、( )内の語句を並べかえなさい。(6点×5=30点)

- (1) 私はあなたがずっと話したいと思っている男の子を知っています。  
I know the boy ( talk / whom / wanted / to / you / have ) with.  
I know the boy \_\_\_\_\_ with.

- (2) こちらは多くの若者が尊敬している政治家です。  
This is a politician ( people / respect / young / that / many ).  
This is a politician \_\_\_\_\_.
- (3) 私たちが待っていた男性は、この店で働いています。  
( we / that / man / were / waiting for / the ) works at this store.  
\_\_\_\_\_ works at this store.
- (4) 私たちがいちばん好きな野球選手は、来年引退するでしょう。  
( best / the / player / we / baseball / like / the ) is going to retire next year.  
\_\_\_\_\_ is going to retire next year.
- (5) 私たちは昨晚話題にしていた男性と連絡を取りたいと思っています。  
We want to contact ( were / the / we / man / talking about ) last night.  
We want to contact \_\_\_\_\_ last night.

**Q3** ( )内の語を使って、次の日本語を英語に直しなさい。(10点×5=50点)

- (1) 私はあなたが好きな俳優を知っています。(whom)  
\_\_\_\_\_
- (2) こちらは多くの選手が尊敬しているアスリート (athlete) です。(that)  
\_\_\_\_\_
- (3) 私たちが待っていた男性は来ませんでした。(who)  
\_\_\_\_\_
- (4) 私は昨日私たちが話題にしていた女性に会いたいです。(that)  
\_\_\_\_\_
- (5) あなたが最も好きな野球選手はアメリカ (America) に行きました。(that)  
\_\_\_\_\_



### ポイント 関係代名詞のまとめ

	主格	目的格
人	who	who [whom]
動物・もの	which	which
人・動物・もの	that	that

出題範囲 セクション88~100

1 次の( )に入れるのに適当な語句を, [ ]内から選びなさい。(3点×6=18点)

- (1) もし私があなたなら, そんなことはしないでしよう。  
If I ( ) you, I would not do such a thing. [ am / were / is ]
- (2) もし彼女が私たちを訪ねていたら, 私たちはうれしかったです。  
If she ( ) us, we would have been happy.  
[ has visited / had visited / will visit ]
- (3) 私は, あそこに立っている女性を知っています。  
I know the woman ( ) is standing over there.  
[ who / whose / whom ]
- (4) そこに立つ建物は有名な教会です。  
The building ( ) stands there is a famous church.  
[ which / who / whom ]
- (5) 彼は何てすてきな人なんでしょう!  
( ) a nice guy he is! [ What / How / Why ]
- (6) ステージで歌っている女の子を見なさい。  
Look at the girl ( ) on stage. [ sing / singing / sang ]

2 次の文を指示に従って書きかえなさい。(6点×4=24点)

- (1) He will answer your question. (付加疑問文に)  
\_\_\_\_\_
- (2) There aren't any students in this class. (付加疑問文に)  
\_\_\_\_\_
- (3) Mr. Yamamoto is a manager every worker respects very much.  
(関係代名詞 that を補って)  
\_\_\_\_\_
- (4) He is very handsome. (how を使った感嘆文に)  
\_\_\_\_\_

3 次の日本文に合うように, ( )内の語句を並べかえなさい。(5点×6=30点)

- (1) 私はとても忙しかったので, 彼に電話をすることができませんでした。  
I was ( busy / I / him / couldn't / call / that / so ).  
I was \_\_\_\_\_.
- (2) 私には東京に住んでいる息子が2人います。  
( in Tokyo / live / have / who / two sons / I ).  
\_\_\_\_\_.
- (3) もし私が鳥だったら, あなたのところへ飛んでいけるのに。  
If ( could / I / a bird / I / fly / to you / , / were ).  
If \_\_\_\_\_.
- (4) 私は彼女に, いつ時間があるかをたずねるつもりです。  
( time / will / her / when / she / have / I / ask / will ).  
\_\_\_\_\_.
- (5) 彼女はきっと成功すると思います。  
( sure / she / succeed / am / that / will / I ).  
\_\_\_\_\_.
- (6) 彼らは何と仲のよい友だちなのでしょう!  
( are / friends / they / what / good )!  
\_\_\_\_\_!

4 次の日本文を英語に直しなさい。(7点×4=28点)

- (1) あなたは昨日, 忙しかったんですね。  
\_\_\_\_\_
- (2) あなたたちはその泣いている赤ちゃんを知っていますか。(現在分詞を使って)  
\_\_\_\_\_
- (3) 彼女は私に, 彼女の母親が病気であると言いました。  
\_\_\_\_\_
- (4) 東京は多くの人々が訪れたことのある都市です。(which を使って)  
\_\_\_\_\_